



<取材のお願い>

2023年8月4日

鈴鹿工業高等専門学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

フィンランドと高専の学生が「ものづくり」で起業を目指す

～鈴鹿高専によるスタートアップ人材育成～

鈴鹿工業高等専門学校では、8月12日（土）～8月19日（土）、フィンランドのトゥルク応用科学大学（TUAS）から大学生10名を招き、英語を使ったスタートアップ人材育成のための「テクノプレナーシップ合宿研修」を実施します。テクノプレナーシップとは、“Technology”（技術）と“Entrepreneurship”（起業家精神）を組み合わせた造語で、テクノロジーを使って社会に大きなイノベーションをもたらす新しいタイプの起業家精神のことです。なお、この研修には本校の他に、近畿・東海・北陸地区の高専の日本人学生や留学生も参加予定です。

本校は地元企業と連携し、「ものづくり・AI・課題解決」によるスタートアップ人材を育成し、学生の起業を推進しています。今回の研修は、起業に必要な課題解決能力や国際的コミュニケーション能力を身に付けた実践的なエンジニアの育成を目的としています。

研修では、スタートアップ先進国であるフィンランドの学生と、ものづくりを得意とする日本の高専生が、テクノプレナーシップに関するワークショップを行い、テクノロジーを用いた起業のためのビジネスプランを作成します。さらに、ものづくり演習やスタートアップ企業訪問のほか、起業の最前線で活躍しているソフトバンク株式会社の多田彰氏による基調講演や、ビジネスが専門のトゥルク応用科学大学 Veli-Matti Suominen 先生による「フィンランドのスタートアップ事情」についての講演を実施します。今回、フィンランドと高専の学生が本校の学寮において寝食を共にする合宿研修を行うことで、互いのコミュニケーション能力の向上が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>





つきましては、フィンランドと日本の学生たちがワークショップを行う様子、ものづくり演習の様子、熱心に講演を聴く様子、スタートアップ企業を訪問する様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。

なお、参加者をはじめ、実施担当の日下隆司教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】

- オリエンテーション、意見交換会
- 研修旅行（伊勢神宮および周辺施設、スタートアップ企業訪問ほか）
- ワークショップ、ものづくり演習、講演、工場見学、最終報告会

【研修日程概要】

8月12日（土）	午前：入国 午後：オリエンテーション
8月13日（日）	午前：ミートアップ、学外研修旅行；鈴鹿市考古博物館見学・体験実習 午後：プレイベント、意見交換会、ウエルカムパーティ
8月14日（月）	午前：プログラム概要説明、基調講演（ソフトバンク 多田氏） 午後：ワークショップ、グループ間ミーティング
8月15日（火）	午前：ワークショップ 午後：ものづくり演習（たまご落としコンテスト）
8月16日（水）	午前：中間報告会、講評、講演（TUAS Suominen 先生） 午後：ワークショップ、グループ間ミーティング
8月17日（木）	終日：学外研修旅行：スタートアップ企業訪問（伊勢門屋麦酒）、伊勢神宮および周辺施設見学
8月18日（金）	午前：ワークショップ 午後：ものづくり演習（ミニ四駆および遠隔操作）、グループ間ミーティング、フェアウエルパーティ
8月19日（土）	午前：最終報告会、表彰および修了証交付 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

鈴鹿工業高等専門学校

担当：総務課総務企画係

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）